

Dance ダンス Dance ダンス Dance ダンス



■ 齊藤斗志二会長退任ご挨拶

■ 2021年度定例理事会
全国代表者・正会員会議&社員総会

■ 全日本選手権10ダンス

■ 『Dance Dance Dance 100号』発刊の道なり II



公益社団法人
日本ダンススポーツ連盟
Japan DanceSport Federation

2021 No. 100
夏

ワールドマスターズゲームズ 第10回記念大会は アジアで初めて日本・関西で開催!



ワールドマスターズゲームズは、国際マスターズゲームズ協会(IMGA)が4年ごとに主宰する、30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰もが参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会。第1回は1985年にトロントで開催され、直近では2017年に第9回大会がニュージーランド・オークランドで開催されました。

そして、2021年にアジアで初めて日本の関西で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期が決定し、2022年5月に開催することになりました。

第10回の記念大会となるワールドマスターズゲームズ2021関西は、2022年5月13日(金)～5月29日(日)の17日間、全35競技59種目が競われます。ハーフマラソンや野球、サッカー、ゴルフはもちろん、ダンススポーツも開催。(公社)日本ダンススポーツ連盟(JDSF)はダンススポーツのオリンピック参加を目指しており、ワールドマスターズゲームズへの参加は、オリンピック参加を促す大きな力になるに違いありません。

読者の皆さんも、シニアの世界大会を経験してみませんか?
国際交流のこの機会をお見逃しなく! エントリーお待ちしております。

大会ホームページはこちら



ダンススポーツはこちら



大会公式YouTubeはこちら



トピックス!

東京オリンピック閉会式にブレイクダンスの河合来夢選手が 日本国旗のベアラーとして登場!

1年の延期を経て開催された東京オリンピックは8月8日に閉会式が行なわれ、すべての日程を終えました。閉会式では日本国旗のベアラー(運び手)は、柔道男子60キロ級金メダルの高藤直寿、競泳2冠の大橋悠依、体操男子団体銀メダルの北園丈琉、24年パリ五輪から採用される我らブレイクダンスの河合来夢(らむ)らが務めました。

今大会で日本は58個のメダルを獲得し、うち27個が金メダル。いずれも史上最多を記録しました。閉会式では次の開催地フランス・パリへの引き継ぎセレモニーも行なわれ、17日間に及んだ東京オリンピックが幕を閉じました。

24年パリ五輪のブレイクダンスの活躍が期待されます。



2018年、アルゼンチンで行なわれた夏季ユース五輪に出場し、金メダルを獲得したブレイキンの河合来夢さん

会長退任ご挨拶

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 名誉会長 齊藤斗志二



本年6月の定時社員総会を持ちまして、本連盟会長・代表理事を退任させていただくことになりました。

2001年（平成13年）度総会において、ダンススポーツのことなど全く知らない私を会長にご推挙いただき、20年間の長きにわたり今日まで大過なく会長職を全うできましたことに安堵するとともに、私を支えてくれた役員の皆様、そして多くの会員の皆様へ感謝申し上げます。心からお礼申し上げます。

私が就任して最初の仕事はJDSFの法人化でした。当時のダンス界はプロ団体とアマチュア団体との棲み分けが出来ておらず、長年にわたり本連盟の法人化が進まない状況がありました。そんな中、常任理事の金子さん（静岡県ダンススポーツ連盟会長）から「何とか法人化を実現したい」との強い要請を受け、同じ静岡県であり静岡県体育協会会長を務めていた関係で、静岡グランプリを何度か県知事と一緒に観戦したこともあり、断り切れずにお引き受けしたような次第です。



日本スポーツ協会に正式加盟

法人化につきましては、プロ団体（ボールルームダンス）が加盟する国際組織（WDC）と、IOCの加盟団体（IF）であるダンススポーツのIDSF（現WDSF）との組織の違いなどから、プロダンス団体との棲み分けが明確となり、わが国における「ダンススポーツ競技」の統括団体として2002年8月、文部科学省より社団法人化の承認が得られることとなりました。この時点で私の役目はほぼ終わったといっても過言ではなかったと思います。

その後の本連盟の発展は目を覚ますものあり、公益法人改革においては2011年3月29日、いち早く

内閣総理大臣（内閣府）より公益社団法人格の認定書を賜り、4月1日、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟として再発足いたしました。また、プロ団体との関係強化を進めるなかで、2016年6月の総会においてプレミアム部門（PD部門）がスタート、そして2019年3月には遂に本連盟設立時からの念願だった公益財団法人日本スポーツ協会（日本体育協会より名称変更）の正加盟を果たしました。今やダンススポーツの国体参加も現実のものとなり、名実ともに日本のダンススポーツ統括団体として、世界のWDSF（世界ダンススポーツ連盟）の日本の加盟団体として、確固たる地位を築き上げることが出来ました。

さらには2016年12月、IOCよりユースオリンピック正式種目実施となったブレイクダンス部門が加わり、2024年パリ・オリンピックに向けて組織を拡大・強化するまでに至りました。

本年はこのようなJDSFとしての大きな節目の年となり、新しい時代を迎えるJDSFに相応しい人にバトンを引き継ぐために、私の役割もここで一旦終止符を打たせていただき、オリンピックスポーツ団体となるJDSFにとって、新しい指導者の下でさらなる発展を遂げていただきたいと切に願っております。

また、このたびの退任にあたりましては名誉会長という地位を与えていただき大変恐縮しております。会長退任後も本連盟の発展に微力ながらご支援させていただければと思います。

皆様の御厚情に心から感謝を申し上げて、ここに会長退任のご挨拶とさせていただきます。

長い間本当にお世話になりました。ありがとうございました。



中国広州で開かれたアジア大会に同行（写真前列中央）

2021年度定例理事会

2021年6月6日(日)14時より定例理事会が実施されました。4月25日から東京、大阪など10都道府県に発令されていた緊急事態宣言が延長される中、会議はすでに稼働実績を重ねつつあるWeb会議システムZoomを利用したものとなりました。

体調不良で欠席された齊藤斗志二会長に代わり、山田淳専務理事の挨拶により始まった理事会では第1号から第10号までの議案審議と報告事項説明が行われました。

第1号議案 未来ダンスアスリート育成資産の運用と取り崩しの件については、山田専務理事からの説明と現状明細に基づき、2020年度の運用と取り崩しが承認されました。

続いて、第2号議案 2020年度事業報告及び決算の件は、山田専務理事の総括と川上勲経理部長からの貸借対照表など収支決算書案内容についての説明があり、監査報告を確認の上、必要書類を2021年度定時社員総会に提出することが承認されました。

第3号議案 定款変更の件では、岸尾政弘総務部長の説明による理事定数・業務執行理事定数の上限変更が承認。

第4号議案 役員選任の件は、同改選にあたっての方針を山田専務理事が説明して承認。第5号議案 名誉役員選任の件については、役員改選等に伴う名誉役員選任について金子和裕常務理事事務局長が説明し、承認されました。

第6号議案 機構改革の件は、環境変化に適応した持続可能な組織を目指すための機構改革です。マーケティング本部内にデジタル・コミュニティ推進部、エンターテインメ

ント本部内にダンスカルチャー推進部(イベントプロモーション部改組)の設置、組織変革委員会内のワーキンググループを独立させ、新サービス検討委員会に行政イベント推進委員会を改組し、事務局と国体推進担当顧問への移管などを行うこと、渡邊マーロックマーケティング本部長、秋田幸子エンターテインメント本部長への担当役職変更と職務分掌規程改正などについて山田専務理事、中道俊之業務執行理事の説明があり、承認されました。

第7号議案 会費に関する規程変更の件は、山田専務理事の説明で、ブレイクダンス部構築に伴い、ブレイキン選手登録料には都道府県連盟の預り金を含むように改正、第8号議案 長崎県ダンススポーツ連盟統合・加盟申請の件は、中道理事からの説明、第9号議案 令和元年度事業を対象としたスポーツ振興助成金実態調査の調査結果に基づく改善方策の件は、岸尾総務部長の説明と山田専務理事からの対策案説明があり、それぞれ承認されました。

決議事項の最後は、第10号議案 今後の総会と定例理事会日程についてで、総会と臨時理事会日程を原案通り承認。報告事項の都道府県スポーツ協会への加盟進捗状況、新型コロナウイルス感染症の影響による事務局の休業(5割休業の5月6月延長)、今後の主な主催事業について触れ、館博理事、多賀啓コンプライアンス委員会委員長、最後に中井眞一郎副会長の挨拶を経て会議は16時07分に終了しました。

全国代表者・正会員会議

6月20日(日)13時から、JDSF会議室をハブとしてZoomによる全国代表者・正会員会議が行われました。

約80名が参加した会議は、開始前に中道理事主導によるオープニングアンケートが実施された後、山田専務理事の開会挨拶でスタートしました。岸尾総務部長の司会進行に基づき、まず6月27日の社員総会提出議案、2020年度の実業報告と決算報告、定款変更、役員選任等について、各担当理事、部長からの詳細な説明と質疑応答が行われ、内容が確認されました。

続いてアフターコロナに向けた活動方針としてのオンラインコンペやティーチングなどのデジタル化への環境整備、今後の活動などについての報告があり、今後すべてのスポー

ツ加盟団体にとって意識されるべきガバナンスとコンプライアンスについての講習に関する解説が行われました。



約80名が参加

アンケートと2度目の休憩を挟んで、ブレイクダンスを含めた今後の都道府県連盟の活動進展方向や方策についての説明と検討があり、DX(※)を目指した具体策としてのデジタル会員証と会員マイページへの移行計画など、各種

の報告が行われた上で最後の質疑応答を経て、会議は定刻に無事終了しました。

※デジタルトランスフォーメーション：情報技術による生活等の変革

2021年度定時社員総会

6月27日(日)14時から、前週に開催された全国代表者・正会員会議と同様のWeb方式で2021年度定時社員総会が開催されました。

代表者会議における説明/討議を経た上で、審議事項に関して事前の書面表決書による議決権行使もしくは委任表明という仕組みを採用した総会は、議長に東京都ダンススポーツ連盟の岡里美恵子事務局長を選任して進行し、第1号議案2020年度事業報告及び決算の件、第2号議案定款変更の件、第3号議案役員選任の件は、すべて可決されました。

JDSF
Japan DanceSport Federation

2021年度 定時社員総会 次第概要

- | | |
|---|---------------|
| ① 第1号議案の説明と審議 | ④ 新理事役割紹介 |
| ② 第2号議案の説明と審議 | ⑤ 報告事項1~4 |
| ③ 第3号議案の説明と審議 | ⑥ 新任理事等によるご挨拶 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 休憩(約10分)
別室にて臨時理事会を開催 </div> | |
| | ⑦ 加盟団体代表者紹介 |
| | ⑧ 退任理事によるご挨拶 |

— 閉 会 —

臨時理事会

その後、開催された新しく選任された理事会メンバーによる臨時理事会では、代表理事等が選定されました。



中井眞一郎新会長の挨拶

今期役員として選定・承認された方々は以下の通りです(敬称略)。代表理事・会長 中井眞一郎、副会長 市原則之、専務理事 山田淳、常務理事 金子和裕、業務執行理事 山田淳、金子和裕、中道俊之、山口剛、鶴崎清貴、秋田幸子、佐倉文彦、水本泰弘、石川勝之、渡辺裕美、篠田龍佑、岡田大輔、吉川英司、渡邊将広、理事 大塚眞一郎、岡崎朋美、栗栖太、福島梨絵、太田吏圭子、監事 鈴木一夫、

竹島弘幸、武永実花

また、名誉役員としては、名誉会長 齊藤斗志二、顧問 館博、太田正治、八木沼純子、特任顧問 居樹保朗、松山光男、渡辺英美、永井彰が選任されました。

今回、新たに名誉会賓及び会賓についての規程が制定されました。同制度は日本アマチュアダンス連盟(JADA)創立以来の連盟発展に著しい貢献のあった方々の功績を称え、称号をもって永く後世に伝えることを目的とするものです。これに基づいて、次の方々が名誉会賓に選定されました。



～ 名誉会賓の方々 ～

山口 繁雄

(最高顧問、日本アマチュアダンス協会会長)

小野 清子

(名誉会長、国家公安委員長、オリンピック体操メダリスト)

田邊 重光

(副会長、公益財団法人日本ボールドムダンス連盟副会長)

太田 実

(ロヂャース/北辰商事株式会社代表取締役社長)



(広報部長 佐藤篁之)



臨時理事会

2021ダンススポーツグランプリ in 大阪

5月16日(日) / 不死王閣グリーンホール

大阪グランプリ、逆風下での開催と成功

実行委員 奈良県 大江 偉夫

5月16日、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言下で大阪グランプリが開催された。もともと、この競技会日程は緊急事態宣言(～5/11)の終了後になっていた。ところが感染拡大が止まらず、緊急事態宣言自体が月内一杯に延長されてしまった経緯がある。最終判断は11日火曜日緊急にズーム招集された実行実務者会議で決定された。

メインとなる感染対策は大きく三つ。選手の更衣場所入れ替え制とその更衣場所の固定化、空気の流れを作る、そして後から追加された「本部貸出の安全対策の噴霧装置」のフル活用だった。

更衣場所の入れ替え策は、グランプリ戦を15時には終了し、そこから級別戦を行うと言うもの。これにより、会館許容人員を80%としても、二回に分けて入場させることが可能となり、競技会規模を縮小することなく開催することができた。

また、入場対策は選手入口を一つに絞り、階段のみを使う。エレベーターは密になるため、荷物運びに使用した。これにより、前半のグランプリ、Jrラテンとシニアラテンは計画通りに終了し、場所の明け渡しが進んだ。一方の受付では早めに来場した選手が一階の階段外で長い列をつくった。その方々が一気に二階の受付に来られると密になり混乱するので、5組10名ずつを目安に二階へと誘導した。

会場の不死王閣は大阪池田市の余野川に沿って南北に位置している。自然と川の南からの風が上がってくる。そこで普段は非常口としてのみ使用しない扉を前開にし、建

大型噴霧装置と工業用扇風機
▼受付

屋北側の食堂と受付側の窓を全開にして工業用扇風機(計6台)で気流をこしらえた。

選手更衣場所

は東西の窓を全開にすることによって、しっかりと空気の流れができ、渡り廊下もすべての窓を全開にして風を起こした。

極めつけは、本部貸し出しのコロナ消毒液噴霧装置である。受付に小型を二台、大型を競技フロアに一台、そして選手入場口に一台配備した。この噴霧した空気も南非常口側からの風で北の選手たまり場をとおり、さらに受付から抜けてい行く流れでうまく作用した。

この競技会は、前述の通り、緊急事態宣言の延長により、一部の心ないダンス愛好家とみられる方々から、開催地の不死王閣さんと実行委員長あてにメール、電話、ファックスによる競技会の中止・延期の要請や、恫喝めいた抗議が相次ぎ、開催にはかなり慎重で周到な準備が要求された。天道貞一GD西部ブロック委員長はじめ、谷口主嘉副実行委員長、各委員たちの涙ぐましい努力のたまもので、クラスターが発生することもなく無事に競技会を終えることができたのは、本当に嬉しい限りである。

グランプリスタンダード

優勝



小嶋 みなと・盛田 めぐみ 組
(DSC神奈川)

準優勝



大西 大晶・大西 咲菜 組
(ハッピーHappyクローバー)

第3位



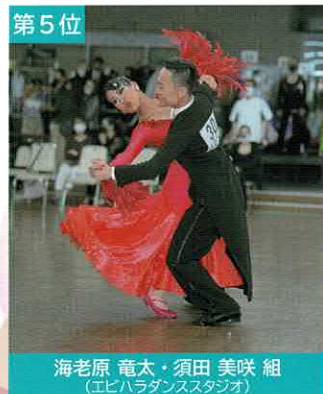
山田 恭平・秋山 彩織 組
(東京都DSC)

第4位



熊谷 光晃・粕尾 明日香 組
(DTS友好会)

第5位



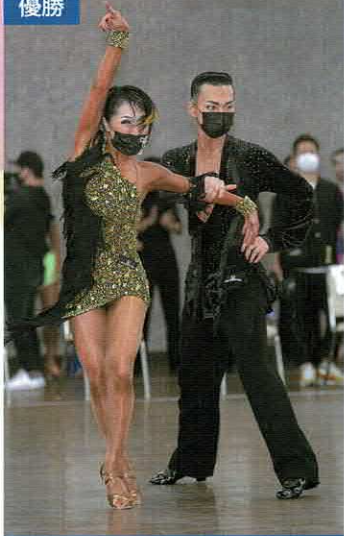
海老原 竜太・須田 美咲 組
(エビハラダンススタジオ)

第6位



藤森 春樹・金山 咲月 組
(東京都DSC)

優勝



押川 慧悟・和田 知世 組
(DSC 神奈川)

シニアラテン選手権

準優勝



村瀬 賢一・小笹 詩織 組
(埼玉県DSC)

第3位



石田 茂之・矢野 美帆子 組
(すみれダンススポーツクラブ)

第4位



山本 哲郎・工藤 由美子 組
(東京都DSC)

PDグランプリカップ ラテン

優勝



久保田 弓椰・徳野 夏海 組
(TEAM YUMIYA 北海道)

準優勝



山本 武志・木嶋 友美 組
(LIBERA DANCE)

第5位



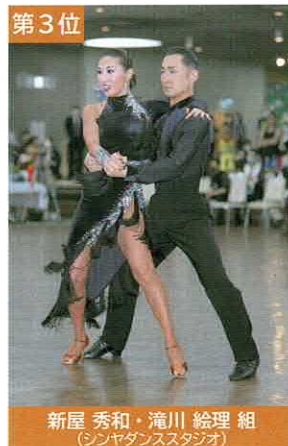
河野 弦二郎・河野 サヨ 組
(京都府DSC)

第6位



佐藤 寿一・佐藤 美奈子 組
(東京都直轄)

第3位



新屋 秀和・滝川 絵理 組
(シヤマダンススタジオ)

第4位



Kevin・河岡 宏美 組
(T Dance Production)

第5位



高島 大知・田村 奈緒子 組
(TAICHI DANCE RUCE)

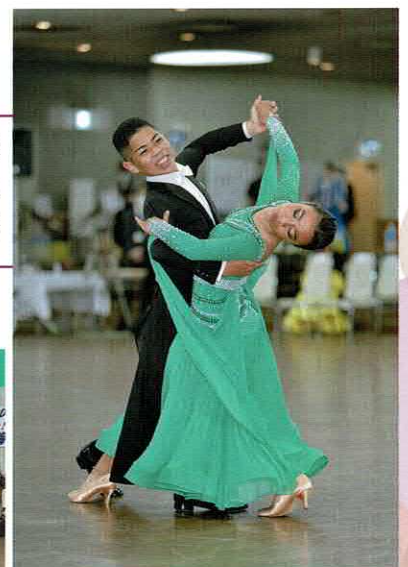
第6位



上原 伸之・家入 由佳 組
(Up Joy Dance Studio)

St・La 優勝

ホワイトン 謙心
ホワイトン 夏奈実 組
(ブルボンDST)



ジュニア スタンダード



ジュニア ラテン





奈良県ダンススポーツ競技会開催

奈良県ダンススポーツ連盟会長 大江 偉夫



今回の競技会も、例年通り奈良県宇陀市という県下でも比較的人口の少ない南部地区での開催であった。このため、事前に市長秘書室を通じて金剛一智市長に面会をお願いし、市のダンススポーツ競技開催への理解を求めた。



金剛一智宇陀市長

市長は会談中、「いつまでもスポーツイベントの中止ばかりが感染防止になるとは思わない。策を講じてのスポーツは地域の活性化に必ずプラスに働く」との考えを示し、私たちを励まして下さった。

このおかげで、地元の理解を得ることができ、奈良県、奈良県スポーツ協会からの後援を得ることによって開催中止の圧力は一切受けることなく、のびのびと準備に没頭し開催できたのはありがたいことだった。

さて今回のコロナ対策は、密をさける、会話や談笑を極力控える、競技に集中し、かつ空気の入替えを頻繁に行うという課題をどう解決するかということである。

毎年、競技会の朝には、多くの選手の方々が体育館の開くかなり前から長蛇の列を作って待ってられる。まずこれは良くない。そして更衣が終わるとフロアの状況を確認しようと、多くの選手が練習を始められる。これもかなり混雑する。競技中は、成績掲載コーナーに集まり、さらには次の競技に向けて早め早めのフロア待機をされる、どれをとっても密の連続だった。

これらに対して、

1. 背番号ごとに更衣場所をはじめから固定し周知すること
2. 練習時間は競技会開始直前に組み込むこと（愛知県連盟方式）
3. 競技結果はネット配信で人の密集を未然に防ぐこと（リアルタイムシステムのすご技）
4. 選手の皆さんの呼び出しは、その競技開始の一つ前に限ること（それまで競技フロアへ来てもらう事はご遠慮いただいた）
5. 競技への出番のそのフロアにはパートナーが腰掛ける場所を、間隔をあけて作り、出場カップルを無用に移動させないこと（東京都連盟方式）

6. 昼食は更衣場所で黙食を取り決めた。

次に、受付業務はかなり感染の危険にさらされるのでは、と考えた。大げさかもしれないが、ご担当の理事役員さんの安全を考え、パーティーは必須と判断し、ネットで購入した。値段は一枚5,000円近くしたが、これは投資の一部であり、安全策であるので価格は度外視した。そして一部昨年11月に開催したダンス交流会の時の受付パーティー（透明テーブルクロス）を消毒、改良し使用した。



更衣場所をはじめから固定

賛否両論もあるが、次亜塩素酸噴霧装置は受付で全力稼働させた。風が通ると、工業用扇風機で空気を攪拌するのとの両方で空気の滞留を最小限にとどめた。工業用扇風機は（一般社団法人）奈良県ダンス連盟（JDSF-PD奈良県）と共同で使用する目的で、合計4台を購入していた。これをフルに活用した。



受付の様子

前日の準備はいつもと違いかかなり時間がかかったが、養生テープによる更衣場所の区分別けと背番号配置表示、選手の方々の導線、通行規制線作成、空気が流れやすいような扉の開放と固定を行った。



送風機と消毒液噴霧器

選手の方々のエントリーは120組。中止になってしまった奈良シニア元気フェスタも、今回は知事の賞状こそ無いものの、選手の皆さんに喜んで頂けるよう自前で小さなトロフィーを用意した。

新型コロナウイルス感染症で疲れてしまったダンス界を何とか元気にしてゆく道筋は、少し見えてきたかもしれない。



競技風景



A級戦 スタンダード&ラテン優勝
川本竜・川本弥由 組（奈良県）

『Dance Dance Dance 100号』 後半：51号～100号 発刊の道のり II

皆様方のご協力を得て、DDDは100号を迎えました。

“目指せ！国体・オリンピック実現”を目指して、1977年、学連・全国アマチュア選手会・社会人ダンス連盟の3者が一体となり設立された日本アマチュアダンス協会（JADA）は、2002年、文部科学省認可の社団法人となり、そして2011年には公益事業を主な活動目的とした内閣総理大臣認可の公益社団法人日本ダンススポーツ連盟（JDSF）へと生まれ変わりました。組織は大きく変貌し、競技スポーツ、生涯スポーツとして大きく発展しました。日本体育協会（現日本スポーツ協会）、日本オリンピック委員会（JOC）正加盟も実現しました。ダンススポーツ競技は国内の、ねりんピックや国民文化祭の参加、国際的にはアマプロ区分の無いオリンピック関連のイベント、ワールドゲームズから、東アジア大会、アジア大会、ユースオリンピックの実現。さらに2024年パリオリンピック（ブレイクダンス種目）決定まで、常に変わらぬ一步一步の努力の積み重ねです。ここに至る道は決して平坦な道ばかりではありませんでした。幾度かの危機に遭遇しながらもそれらを乗り越えて今日があるのです。これもひとえに、会員の皆様をはじめ関係各位の温かいご支援とご愛顧の賜であり、さらにJDSFの伝統を築き、育ててきた先人達の熱意と真摯な努力によるものです。

JADAの広報誌として発足した『Dance Dance Dance (DDD)』も年4回発行、四半世紀、25年の長きにわたり、第100号を迎えました。大きな節目です。前回の99号では25年間の前半を振り返りました。100号では後半を振り返ります。創刊100号発刊にあたってその歴史をあらためて思い起こし、ここに深い感謝と敬意を表する次第です。

(JDSF広報部相談役 神宮周二／同顧問 宮崎多加子)



2010年12月、早慶ダンスフェスティバルにて

2009年

DDD51号

ロチャース杯争奪第11回東京オープン
スピードとパワー、躍動する美しさ、興奮と感動の熱き競演！！



3月8日満員の東京体育館においてSt. La共にWDSFグランドスラムの競技となり、世界最強の選手が勢ぞろい。日本選手の健闘も最終予選まで！ロチャース太田実社長主催のフェアウェルパーティも盛大に開催。

DDD53号

第5回香港東アジア
競技大会開催
カウントダウンレセプション

8月27日明治記念館にて歓迎レセプション開催。香港特別行政区政府のジェニー・チェック主席代表の歓迎の辞。JOCを代表し市原則之専務理事（JDSF理事）ご出席。文部科学省布村幸彦スポーツ青少年局長が乾杯のご挨拶。



2010年

DDD54号

第5回香港東アジア
競技大会・
ダンススポーツ競技
チームジャパンが、
金5、銀4、銅3、
全員がメダル獲得！！



IDSFグランドスラム ファイナルでJDSFの 新審判方式を採用

オリンピックを目指すには客観的な採点方式が絶対的に必要とし、2009年12月中国上海で開催されたIDSFグランドスラムファイナルにおいてJDSFの新審判方式が初めて採用され大成功を収める。

DDD55号

第16回アジア大会
ダンススポーツ競技
代表選手発表記者会見！

ダンススポーツが正式競技に初決定。JOCから派遣される日本代表の記者会見を、JOCや日体協本部、さらにマスコミ各社もデスクを置く岸記念体育館において開催。多くの新聞やテレビで報道。プロ選手の枠も設けられたが辞退、全てJDSFの選手派遣となる。



DDD57号

山口繁雄参与、日本スポーツグランプリを受賞！ 天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、国民体育大会役員懇談会にて山口繁雄JDSF参与が「日本スポーツグランプリ」を受賞。ダンス関係の受賞は初。天皇陛下から「これからもダンススポーツの発展に努力を！」とお声をかけられ「身に余る光栄！」

山口繁雄参与 日本スポーツグランプリを受賞！

9月25日(土)/千葉市・ホテルニューオタニ大ホール



DDD58号

ダンススポーツ史に燦然と輝く第16回中国広州アジア競技大会 2010年11月、45の国・地域から約1万4千人を超える選手役員が参加。日本からは過去最大の選手726名、総勢1078名の役員・選手団がJOCより派遣され、団長は市原則之JOC専務理事(JDSF理事)。ダンススポーツ競技は、高校生3名を含む16名。銀3個、銅4個のメダルを獲得。14ページにわたり詳細な記録を掲載

Large collage of photos and text from the 16th Guangzhou Asian Games, including dance performances and medal ceremonies.

Book cover for 'Dance Dance Dance' featuring the 16th Asian Games dance sports record.

Book cover for '16th Asian Games Photo Album' with various photos of athletes and officials.

2011年

DDD59号

緊急特報 東日本大震災！ 巨大津波 街をのむ 「今を頑張ろう！！ともに、前へ」 3月11日、観測史上最大M9.0の大地震発生！経験したことのない「1000年に1度」の大きな揺れ、巨大津波、恐怖に打ち震えました。JDSFは災害本部を設置。今、私たちが何ができるか……。ダンススポーツには、人々を笑顔に、元気にする力がある。手と手を携え、一緒に頑張らしましょう。

Emergency report page with multiple columns of text, photos of disaster relief efforts, and a map of Japan.

～社団法人から公益社団法人に 認証されました！～ ダンススポーツで東北を応援しよう！ 未曾有の災害をもたらした「東日本大震災」から日も経たない3月29日山雅允事務局長(公益社団法人化委員長)が内閣府に出向き、節電のため薄暗い会議室で公益社団法人の内閣総理大臣「認定書」を受領。4月1日、「公益社団法人日本ダンススポーツ連盟」として新たな出発！！

Small article or notice with a photo of a man and text about the organization's transition.

DDD60号

日本体育協会・日本オリンピック委員会 創立100周年記念 祝賀式典 天皇・皇后両陛下のご臨席の下にIOCロゲ会長はじめ28名のIOC委員も参加、会場は1200名の人々で埋まり、特別功労者表彰の山口繁雄参与等も出席。レセプションの席では石原東京都知事が「2020年東京オリンピック招致」を表明！！

Large collage of photos from the 100th anniversary commemorative ceremony, including Emperor Akihito and IOC officials.

頑張れ東北！ダンススポーツで人や街を元気に！！ 東日本大震災復興チャリティ大ダンスパーティ 7月3日仙台近郊で唯一使用可能な宮城広瀬総合運動場体育館において開催。中国広州アジア大会メダリストの久保田弓椰・蘭羅組、貫名強・柴原まり子組も駆けつけました。サークル活動もできないなか、約4か月振りの再会！互いの無事を確かめ合い！そして踊れる喜びを噛み締めました。

Collage of photos from the charity dance party and other related events.

DDD62号

はばたけ！ジュニアダンススポーツアスリートたち！(緊急対談) ～ジュニア選手の育成を考える～ 2010年アジア大会の金メダルはゼロに終わる。中国、韓国などアジア諸国の成長は著しく、どうすれば強くすることができるか？世界を目指すジュニアの競技力向上と会員同士の交流、優れた人格の形成！2012年1月ジュニアであれば誰でも入会できる「ジュニアアスリートクラブ」発足。

Article titled 'はばたけ！ジュニアダンススポーツアスリートたち！' with photos of young athletes.

2012年

DDD63号

世界ジュニアIIスタンダードへのチーム参戦 初めてのジュニアチーム遠征

Article about the team's participation in the World Junior II Standard competition, including photos of the team.

2013年

DD68号

風営法からダンス規制を削除すべくダンス文化推進議員連盟が発足 5月17日衆議院第一議員会館に約300名が集まり署名提出記念集会を開催。5月20日約60名の国会議員が参加「ダンス文化推進議員連盟」が超党派で結成される。 JDSFとして初めての海外合宿 - リミニオープン出場とチーム・ディアプロでの合宿 -

Article about the formation of the Dance Culture Promotion Members' Alliance and the overseas training trip, with photos of participants.

DDD69号

ワールドゲームズ2013カリ大会
岸記念体育館で壮行会と報告

7月8日日本ワールドゲームズ協会主催の記者発表並びに壮行会が開催。南米コロンビア協和国カリ市において、約120カ国・地域、4,000名の選手役員が参加。壮行会では最初にJWGA小野清子会長（JDSF名誉会長）が挨拶。競技会場は「闘牛場」！雨で一時的中断も！！



2014年

DDD70号

JDSFの指導員によるダンス指導が
風営法の規制対象外となる

2013年11月28日警察庁より「ダンスの教授に関する講習」としてJDSFの「公認指導員特定講習」が指定され、12月18日付の官報に「国家公安委員会告示」として掲載。JDSF特定指導員のうち、国家公安委員会に届け出た者については、「風営法」の規制対象外に！！



ダンスコレクション in 国技館
延べ6千名を超える老若男女がダンス・ダンス・ダンス！

誰もが想像できない大ダンスイベントを両国国技館において開催。さまざまなスタイルのジャンルを超えた500名のダンサーが日ごろ鍛えたダンスを延べ6,000名の入場者が見守る中で様々な演技を披露しました。



DDD72号

史上初！WDSF 世界シニアIVスタンダード選手権
地中海の楽園 マヨルカ島（スペイン）で日本選手が大活躍！



2015年

DDD74号

別府市長杯プロオープン
ダンス競技大会
DSC九州ダンス
スポーツ競技会 in 大分

ダンススポーツを国体種目とするにはJDSFとJBDF（日本ボールルームダンス連盟）の協力体制が不可欠とし、2014年11月JDSF九州ブロックとJBDF九州連盟が協力。前日の合同会議に続きJDSF・PD（プロ部門）の競技を開催。Stは小木戸太一・七田ユカ組（JDC福岡県）Laは山本武志・木嶋友美組（JBDF東京都）が優勝。



DDD75号

ダンススポーツを
2020東京オリンピックの
追加種目に！！

～追加種目提案に関する
記者発表会開催～
WDSF（世界ダンススポーツ連盟）は、



IOCから1997年に唯一のダンススポーツの国際競技連盟IF（International Federation）として正式に認定。JDSFは、我が国のNOC（National Olympic Committee）であるJOCに正式加盟の国内競技連盟NF（National Federation）です。カルロス・フライタークWDSF会長、JBDF田邊重光副会長、も出席され開催。

DDD76号

齊藤斗志二会長 旭日大綬章に輝く！！

齊藤斗志二JDSF会長（元：衆議院議員、防衛庁長官）が我が国最高位の勲章「旭日大綬章」。5月8日皇居・宮殿「松の間」で親授式に臨み、天皇陛下より勲章を授与。「燕尾服で宮中に！松の間で名前を呼ばれ、まず最敬礼をしてウォークで陛下の前に前進、2メートル手前でさらに最敬礼して陛下より勲章を賜り、バックステップで後退、横にサイドステップして安倍総理より勲記（証書）を頂き、ハーフターン（回れ右）して下がった。受賞者の中では、ステップは私が一番良かったはず！！」



DDD77号

第100回AAR Japan

「難民を助ける会」主催

真夏の夜のゆめ

チャリティ公演

新国立劇場オペラパレスにおいて記念公演。収益は全て人道支援活動に！助ける会、オペラ関係者とダンスの仲間が一体となり融合した一夜限りの“スーパーダンスエンターテインメント”。



2016年

DDD81号

PD部門説明会&本部会議開催

理事会、代表者正会員会議、総会を経て、PD（プレミア ディビジョン）本部及びBR（ボールルームダンス）本部が立ち上がり、選手等関係者への説明会とPD部門本部会議及び合同会議を開催。



WDSF世界ダンススポーツ選手権 ユース・スタンダード開催

World Championship Youth Standard 2016

7月9・10日北九州市立総合体育館において我が国初の開催。40の国と地域から18歳以下で各国の予選を勝ち抜いた2組だけが出場できる世界最高峰の競技会。この世代の選手は数年後には各国のチャンピオンとなり、世界チャンピオンを目指してしのぎを削る。



2017年

DDD82号

三笠宮崇仁親王殿下ご薨去 心よりお悔み申し上げます

2016年10月27日ご薨去。ダンスに大変ご造詣が深く、皇室きってのダンスの名手で1980年（昭和55年）JDSFの前身の日本アマチュアダンス協会（JADA）総裁にご就任。それを記念して1981年2月に第1回三笠宮杯が開催され第36回大会まで大会名誉総裁にご就任いただいております。殿下が会場に足を運ばれたのは第28回三笠宮杯が最後でした。



DDD84号

公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟 (JDSF) 創立40周年記念式典・祝賀会

全国の加盟団体代表者はじめダンススポーツの発展にご支援いただいている関係の皆様方をお迎えし750名が参加、盛大に開催！我が国ダンススポーツの普及・発展のためにご尽力いただいた歴代役員はじめ、先輩諸氏に心から感謝申し上げます。



DDD85号

第5回 アジアインドア・マーシャルアーツゲームズ 金メダル1個、銀メダル2個、銅メダル1個獲得

トルクメニスタン国首都アシガバートにて62の国・地域が参加、21競技が開催される。Viennese Waltz で山本武志・木嶋友美組が見事金メダル。JOCが派遣する日本代表として、五輪のマークを胸に、メインボールに日の丸が上がり国歌「君が代」の演奏！！



2018年

DDD86号

年末年始のTV番組出演レポート

2017年の年末から年始にかけて、ダンススポーツが日本記録大賞など、多くのテレビ番組でクローズアップ！



DDD88号

日本体育協会から日本スポーツ協会に！

「日本体育協会」は2018年4月1日をもって「日本スポーツ協会」と名称を変更。

DDD89号

WDSF世界ダンススポーツ選手権シニアIVスタンダード in 長野

7月14・15日世界15の国と地域から114組が出場、オリンピックゆかりの長野市ホワイトリングメインアリーナにおいて開催。



第3回ユースオリンピック (ブエノスアイレス) DanceSport-Breaking 競技において 金メダル2個、銅メダル1個を獲得！



2019年

DDD90号

ユースオリンピック報告 2018年11月16日、スポーツ庁 鈴木大地長官を表敬訪問



次期全日本学生競技ダンス連盟会長に栗栖太氏就任

2018年12月JDSFに加盟する全日本学生競技ダンス連盟顧問会議において、来年3月に定年を迎える館博会長（東京農大教授）は次年度の会長職を辞退。後任に東京大学工学系准教授栗栖太氏の就任が決まる。



DDD91号

日本スポーツ協会 (旧日本体育協会) に正式加盟！

1999年6月に準加盟。以来、各都道府県市区町村DS連盟の体協加盟促進、日体協公認指導員・コーチ制度の導入、国体のデモンストレーション競技開催、国体開催地における内閣総理大臣賞争奪都道府県対抗戦の開催、オリンピックイベント参加など、長年に渡る実績の積み重ねにより、3月20日悲願の正式加盟を果たす。結果的にスポーツとしてのダンス (ダンススポーツ) が評価され単独加盟となる。



DDD92号

初のWDSF 世界ブレイキン選手権 中国南京にて開催

DDD93号

スポーツ功労者顕彰等に係る 文部科学大臣顕彰および表彰式

7月23日柴山昌彦文部科学大臣、山下泰裕JOC会長、鈴木大地スポーツ庁長官等が出席し開催。ダンススポーツから初めて、ユースオリンピックブレイキン金メダル河合来夢、銅メダル半井重幸、石川勝之監督等が受賞。



第1回アジアダンススポーツゲームズ 2019 in 高崎アリーナ7月に開催

日本スポーツマスターズ 2019ぎふ清流大会 ダンススポーツ競技大会 (記念事業)

JDSFは日本スポーツ協会正加盟を果たし日本マスターズ2019ぎふ清流大会の記念事業として開催。日本スポーツマスターズは、かつてオリンピックや全日本の選手として活躍したトップアスリートと各地域で日々練習を重ねてきた選手が同じ舞台上「生涯現役アスリートとしての日本」をかけて戦うプロアマ区別のない総合スポーツ大会！



2020年

DDD94号

日本スポーツグランプリ受賞

八木綾子様(富山県ダンススポーツ連盟)
2019年9月28日天皇・皇后両陛下ご臨席の下、伊藤雅俊日本スポーツ協会会長から受賞、故山口繁雄氏(元JDSF最高顧問)に次ぐ二人目。



DDD95号

新型コロナウイルス問題 ダンス界の未来に向かって…

新型コロナウイルス感染症問題は、世界経済や文化・スポーツ活動を直撃！想像を絶する大きな被害をもたらされ、文化・スポーツイベントの自粛が求められ、東京オープンを中止。3月以降、都道府県連盟の競技会も含めてほぼ全ての集会を自粛している状況…

東京都シニア・コミュニティ交流大会 TOKYO 縁ジョイ!

2020年から東京都が実施することになり、ダンススポーツは1月駒沢オリンピック公園体育館において開催。小池百合子東京都知事と縁ジョイ・サポーターの草野仁さん、その他多数のご来賓も参加。



DDD96号

ダンススポーツZOOM懇親会

ダンスに関わる仲間が集い情報交換出来る場を作りたいとの思いで谷口京都府DS連盟会長が企画。初回の参加者は60名を超え、毎週土曜に6回実施、全国から大勢が参加。



2021年

DDD98号

2024年パリオリンピック正式追加競技種目に決定!

Breaking officially added to Olympic Games Paris 2024
2024パリオリンピックにダンススポーツ競技ブレイキン種目が正式決定。2020年12月、記者会見開催。山下泰裕JOC会長の祝辞も届きNHKをはじめ40以上のマスコミ各社が参加、夜9時のNHKニュース等でも早速報道される。



第40回 三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権
新たな挑戦!リモート観客参加型!!

コロナ禍で競技会も軒並み中止のなか国内最高峰の三笠宮杯を安全に開催するため万全な感染防止対策を準備。750名に及ぶ選手役員や大会関係者全員の事前PCR検査を実施。11月21・22日無観客開催、全国のダンスファンに応えるため全競技に解説を加えたYouTubeをライブ配信。選手応援やイベント参加などSNSによる情報拡散なども実施。



第2回 全日本ブレイキン選手権

第1回JOCジュニアオリンピックカップブレイキン選手権

11月21日とどろきアリーナのサブアリーナにおいて開催。YouTubeで中継、チャットでは多くの応援メッセージが届く。JOCから“JOCジュニアオリンピックカップ”が贈られ第1回を開催。三笠宮杯では2009年から“JOCジュニアオリンピックカップ”を開催。

DDD99号

『Dance Dance Dance 100号』
前半: 創刊号~50号 発刊の道のりI



DDD100号

『Dance Dance Dance 100号』

前半: 51号~100号
発刊の道のりII



25年100冊を振り返りました

全日本選手権10ダンス・シニアⅡ選手権大会

2021年6月13日(日)／名古屋市千種スポーツセンター

昨年は新型コロナのために中止となった全日本10ダンス選手権は、今年6月、名古屋市千種スポーツセンターにおいて無観客試合としてコロナ対策万全で開催されました。

兄妹カップルの大西大晶・大西咲菜組（富山県）が10種目に1位を獲得し、念願の初優勝を飾りました。ご両親の大西大紀・早織ご夫妻は21年前、JBDF（日本ボールルームダンス連盟）のアマチュア10ダンスに優勝し、なんと親子2代の10ダンスチャンピオンの誕生となりました。前回大会の2019年、菅原一樹・Laura Collavizz組と大接戦の末に惜しくもタッチの差で優勝を逃した大西組は、今回10種目すべてに1位を獲得し圧勝、昨年の三笠宮杯ラテン優

勝に続いての全日本チャンピオンとなりました。

さらに優勝を飾った大西組の妹の大西陽来里さんは原口侑弥選手と出場し、準決勝7位となり、親子5人で喜びをかみしめました。準優勝は千葉県の高原原竜太・須田美咲組、第3位は北海道の太田歩生・松本京佳組となりました。決勝進出選手12名のうち20代6名、10代が6名となり、今年も若い世代の活躍が目立ちました。

会場には愛知県の町村秀章知事も来場され「練習の成果を発揮し11月の世界選手権目指して頑張ってください。愛知県は高齢者ワクチン接種率は40%を超え全国一。これから秋に向けてひと



写真左から佐合孝史愛知県DS連盟会長、
神戸洋美前愛知県議会議長、鈴木康介実行委員長

競技上の諸注意を述べる
毎原保信チェアパーソン

斎藤嘉隆
衆議院議員

山田昌弘前名古屋市
議会副議長

挨拶する大村秀章
愛知県知事

山迎えるが、体に気を付けて頑張ってください！ JDSFの発展を心から祈念します」と、全国から集まった選手を激励し、決勝を熱心に観戦されました。

シニアⅡ選手権



スタンダード表彰式



ラテン表彰式



優勝
St・La
馬潤亮一・馬潤邦美組(福井県)



優勝
鼻 輝昭・鼻みどり組
(愛知県)



スタンダード表彰式



優勝
岸本崇志・杉山恵利佳組
(愛知県)



ラテン表彰式

C級戦



スタンダード表彰式



優勝
市川達廣・布施舞組
(愛知県)



ラテン表彰式



優勝
伊藤誠治・蟹江淳子組
(愛知県)

全日本10ダンス選手権

優勝した大西大晶・大西咲菜組
22歳と19歳の兄妹カップル。
「日々の練習の成果が発揮できて
嬉しいです。三笠のラテンでも
優勝できたので、次は世界を
目指して頑張ります！」



大西大晶・大西咲菜 組(富山県)



大西ファミリー
(左から、妹の陽来里14歳、
咲菜、大晶、ご両親)
「小さい頃から
スタンダードもラテンも
好きで10ダンス
チャンピオン目指して
頑張ってきたので嬉しい。
私は名古屋出身なので
名古屋で優勝できたのは
特に嬉しい。
コロナ禍で
無観客となり、
おばあちゃんに
観てもらえなかったのが
残念でした。
次の10ダンス選手権は
多くの皆様に
見て欲しいですね」と、
母親の大西早織さん。



海老原竜太・須田美咲 組(千葉県)



第4位

中村エドワード漸・
中村エリザベス永理 組
(アスリートクラブ)



第5位

高階 凌・馬場梨紗子 組(北海道)



第3位

太田歩生・松本京佳 組(北海道)



第6位

川本 竜・川本弥由 組(奈良県)

準決勝進出 カップル



第7位

原口侑弥・
大西陽来里 組
(富山県)



第8位

山下遥聖・山下実彩妃 組(愛知県)

D級戦



スタンダード表彰式



ラテン表彰式



シニアⅢA級戦 スタンダード 表彰式



シニアⅢB級戦 スタンダード 表彰式



つなげていきます スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

スポーツくじ **toto** **BIG**

www.toto-dream.com www.toto-growing.com 19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

ダンス・ダンス・ダンス
第100号 (SUMMER)

令和3年8月発行

- 発行人 / 山田 淳 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟専務理事)
- 編集人 / 神宮周二 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部相談役)
- 編集長 / 佐藤望之 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部長)
- 企画 / 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部
- 発行所 / 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-2 東屋ビル7階 TEL.03-6457-1850 FAX.03-6457-1857
<http://www.jdsf.or.jp>

©本誌の記事・写真の無断転載を禁じます。